

緊急消防援助隊情報

令和7年度中国・四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練の実施結果について

広域応援室／中国・四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練実行委員会

令和7年度中国・四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練は、鳥取県東部で約80年前に発生した“鳥取大地震”の被害と令和5年に発生した台風がもたらした大雨による甚大な被害を基に、「鳥取県東部で発生しうる複合的な災害」を訓練想定とし、緊急消防援助隊の応援等の要請等に関する要綱に基づく要請・出動手順を検証し、活動技術の向上、警察・消防団・DMA T等関係機関を含めた連携活動能力の向上及び応援体制の向上を図ることを目的とし、次のとおり実施しました。

1. 実施日

令和7年11月1日（土）・2日（日）

2. 実施場所

鳥取市、倉吉市

3. 訓練想定

鳥取県東部では、約半年前から鳥取市を震源とする地震が続発し、最大で震度5弱を観測している。また、鳥取県全域では秋雨前線の影響で9月下旬から雨の日が多く、大雨注意報の発表も繰り返されている。

令和7年11月1日（土）午前9時頃、鳥取市鹿野町を震源とする本震が発生し、鳥取市及び鳥取県中部で震度6弱、県内各地で震度5強などの揺れを観測した。

鳥取県東・中部地区を中心に大規模な土砂崩れ、建物倒壊及び火災等多数発生しており、さらに被害が拡大する見込みである。

4. 実施内容

（1）災害対策本部等設置運用訓練

想定地震発生後に、鳥取県庁に災害対策本部、航空運用調整班、保健医療福祉対策統合本部、消防応援活動調整本部を、鳥取県東部広域行政管理組合消防局及び鳥取中部ふるさと広域連合消防局に指揮本部及び指揮支援本部を、鳥取県消防防災航空センターに航空指揮本部を設置した。被害状況と自県消防力を比較・分析し、緊急消防援助隊の要請等により適切に消防力を確保して緊急消防援助隊の受入体制及び運用体制の構築、応援要請等に係る情報伝達、受援調整及び緊急消防援助隊の部隊活動調整等について、図上訓練を実施した。

《今後の課題等》

消防庁、県、市町村が整備する防災情報システム等が

複数存在し、重複入力や情報の入力漏れなどがあり、報告に時間を要する場面やシステム反映や情報更新の遅延、情報の相違が発生したことから、デジタルを活用した円滑な情報共有体制の確保が必要である。



災害対策本部等設置運用訓練（1日）鳥取県庁

（2）部隊進出訓練及び受援体制の確認

応援部隊は、自府県が定める応援計画等に基づき、被災地へ出動し当該計画の実効性を確認した。

また、鳥取県の受援計画に基づく進出拠点、宿営地及び燃料補給体制等を確認し、県及び消防局の受援計画の検証を行い、迅速かつ効果的な活動体制を確立した。

《今後の課題等》

今回の訓練では、受援計画に定めていない新たに整備された施設も進出拠点として活用し、その有効性を確認できることから、今後は隨時、受援計画の進出拠点等を再調査し、受援計画を更新していく必要がある。



部隊進出訓練（1日）道の駅ほうじょう



(3) 災害即応訓練及び部隊運用訓練

指揮支援部隊長の統制の下、地震や土砂・風水害等に起因する災害を想定した各種訓練を関係機関と連携して実施した。

ドローンを活用し、通信支援小隊から現場指揮所に被害の状況を提供し、活動隊へ情報共有するとともに、消防庁映像共有システムに伝送し、消防指揮本部に情報提供を行った。

指揮支援隊の活動統制の下、訓練項目ごとに現地合同調整所を設置し、県内消防応援隊、複数の県大隊及び関係機関が連携して情報共有を図る統括的な指揮活動を実施した。

また、水陸両用車等多数の消防庁無償使用車両の災害対応力について検証、安全管理部隊の検証、複数県の救急隊で救急特別編成部隊を編成し、搬送体制を確立する訓練を実施した。

«今後の課題等»

安全管理部隊等の新設部隊が配備されることで、部隊全体の構成が拡大し、指揮体制は確立しているものの、部隊運用の複雑化及び既存の連絡系統の確認等の対応が必要である。



座屈中高層建物救助訓練（2日）リンピアいなば周辺会場

(4) 後方支援活動訓練

ヤマタスポーツパークにおいて、拠点機能形成車及び支援車Ⅰ型等を活用したほか、女性隊員の宿営や乾燥所の設置についても実践・検討した。

また、訓練を通じて各府県が策定する後方支援に関するマニュアル等を検証し、一層の後方支援体制の強化を図った。

«今後の課題等»

天候の急変により、気温が低下したことから、簡易で機動性に優れた暖房器具の配備、悪条件下での長期的な防寒対策をまとめた運用マニュアル等を整備、検討することが必要である。



後方支援活動訓練（1日）ヤマタスポーツパーク

5. おわりに

今回の訓練は、消防応援活動調整本部、指揮本部、指揮支援本部及び航空指揮本部の運用調整、航空機での部隊進出、新設部隊及び関係機関と連携した合同訓練の実施等、より実践的な訓練となるよう計画しました。

鳥取県における緊急消防援助隊の受援及び部隊運用、関係機関との連携活動における課題が明らかとなり、実災害への対応に向けた大変有意義な訓練であったと考えます。

今後、今回の訓練で得られた成果や課題等を踏まえ、緊急消防援助隊の応受援体制の更なる充実強化に努めてまいります。

最後に、本訓練開催に際しまして、多大な御協力を賜りました中国・四国ブロック各県、ブロック外から御参加いただきました大阪市消防局、神戸市消防局、宝塚市消防本部、美方広域消防本部、兵庫県消防防災航空隊、神戸市消防局航空機動隊、京都市消防航空隊及び関係機関の皆様へ心より感謝申し上げます。

問合せ先

消防庁国民保護・防災部防災課 広域応援室
TEL: 03-5253-7569 (直通)